

秩父市大学講座



ちちぶ学セミナー公開講座(1)

『地質・地形と文化』

秩父を代表する生業・養蚕、それは川が深いところを流れているため田が作れなかった事に起因します。米に代わる換金性の高い養蚕が選ばれたのです。日本の歴史は米の採れる土地の奪い合いでした。米の採れない土地は武士階級に敬遠されました。そのため、秩父には武家文化といえるものが見られません。米が採れ武家社会の存在した盆地とは文化が異なります。

地質・地形・暮らしは、違った分野ですが深い関係にあります。「自然」と「歴史」は別個に研究され語られるが、ここではその関連のおもしろさを探ってみます。

秩父まるごとジオパーク推進協議会上席推進員

吉田 健一 氏

《講師プロフィール》

《略歴》 昭和 43 年 群馬大学教育学部卒業。公立中学校、県立高等学校教諭。
昭和 58 年 筑波大学研究生。県立自然史博物館主査、県立高校教頭・校長。
平成 18 年 県立総合教育センター主任講師、放送大学講師。
平成 22 年 秩父まるごとジオパーク推進協議会上席推進員。
令和 03 年 秩父市文化財保護審議委員会委員。

《著書》 研究論文「狭山市笹井のアケボノソウ」「川中町のサイ化石」
「秩父市大野原のヒゲクジラ」等
報告書 「新幹線赤羽地区遺跡調査」「同 中里地区遺跡調査」
「大滝村神庭洞窟調査」
執筆 「骨の化石ハンドブック」「骨格標本の作り方」
「埼玉の自然をたずねて」「秩父の地形と文化」

令和6年5月11日(土) 13:30~15:30

場所：秩父市歴史文化伝承館 2階 ホール
定員：150人(受講生除く一般参加者)
※ 受講生は、定員制限なく参加できます。
※ 参加費無料・申込不要・先着順
※ 13:30~13:40は開講式を行います。

お問い合わせ：秩父市 生涯学習課歴史文化伝承館 / 0494-22-0420

E-mail syogai@city.chichibu.lg.jp